



笑顔で輝く高山村

高山村村長

後藤 幸三



新年明けましておめでとうございます。

村民皆様には、ご家族お揃いで平成27年の新春を健やかなうちに迎えのことと、心

よりお慶びを申し上げます。昨年は公私共に、大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。引き続き本年も、どうぞ宜しくご指導をお願い申し上げます。

昨年2月14日、15日には100年、200年に一度とも言われる大雪に見舞われ、大きな雪害が発生いたしました。一週間ほど不自由な生活が続きましたが、村民の皆さん、役場の皆さん、建設業者の皆さん、皆さんが力を合わせて普及作業に当たって頂き、ライフラインの確保に努めて頂いたことに、心より感謝を申し上げます。

多くの人が犠牲になりました。11月22日長野県北部を襲った地震では多くの家が倒壊しました。このように何時どこでどの様な災害が発生するか分かりません。高山村に於いてもそのような恐れが十分考えられます。ハザードマップを日頃からよく見ておき、早めの避難に心がけて頂きたいと存じます。

2010年にピークとなった人口1億2806万人は、2060年には8674万人と予測されている中、日本創生会議の増田レポートでは、2040年には1741の自治体のうち約半数の896の自治体が消滅するというショッキングな報告が発表されました。本村と致しましては人口減少は大きな問題として捉え、魅力ある高山村を創生するため必要な事項を全庁体制で検討をするため、地方創生、人口減少対策会議を設置し、それらの課題に取り組んでまいり

たいと考えております。昨年4月20日に、道の駅「中山盆地」がグランドオープンいたしました。オープン直後にゴールデンウィーク、そして夏休みと続き、お客様もますますの入りで、将来に期待が持てそうな数字になりました。道の駅に防災避難場所としてその充実をし、また公園化として整備をし、道の駅周辺の環境整備をして、道の駅の充実を計ってまいりたいと思っております。農産物の売上げについても、本年に於いては昨年の実績からさらに充実した農産物や6次産業から開発された商品の販売につなげ、多くのお客様に来て頂けるよう努めてまいります。11月23日、24日青森県田舎館村で開催されたコメの国際食味分析鑑定コンクールに於いて、群馬県から5点が金賞に輝きました。そのうち2点が高山村から出品されたコメ、コシヒカリとミルキープリン

以上今後に向けての事業展開等述べましたが、「笑顔で輝く高山村」の実現に向けて取り組んでまいりたいと存じますので、どうぞ村行政に対しご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

地球温暖化が進む中、昨年2月に入り高山村が始まって以来の大雪になり、村内のほとんどのビニールハウスが倒壊し、また、雪の重みで倉庫や物置が倒壊してしまいました。今回の大雪により被害を受けられた村民の皆様にお見舞い申し上げます。今回の大雪は、村民だれもが経験したことのない雪でしたが、親子で除雪をしたことで家族の絆が生まれ、ご近所どうしでの助け合いで、団結力が確認されたのではないのでしょうか。幹線道路の除雪に高山村だけロータリー除雪車が入らなかったことが大変残念でした。8月に吾妻地域町村懇談会で、知事に対し、除雪に対する協力要請を強

く行いました。今年の冬は、県の除雪車も増やし、国・県・市町村が連携を密にして、幹線道路の除雪を優先的に実施することを約束しましたので安心して下さい。

道は現在、急速な少子高齢化、本格的な人口減少社会が到来し、特に多くの町

おける利用により、体力の増進、技術の向上、健康管理等に欠かせない運動の機会を設け、元気な村づくりの一助になればと考えます。

荒れ放題であったレッドリープスの跡地に30メガの太陽光発電所が建設されることになり、近々工事も始まる予定です。本宿地区に計画されているソーラー発電事業についても推進し、家庭用についても推進してまいりたいと存じます。

たばこの収納場での農村歌舞伎の一場面が脳裏に残っています。41年一緒に暮らしたおじいさんも、この農村歌舞伎を演じておりました。この時代の大きな楽しみでもあり、大きな行事であったと思います。文化の香り高い高山村でもあります。県指定重要無形民俗文化財に指定されており、また由緒ある貴重な文化財です。村民皆様、全員で守っていききたいと存じます。

年頭にあたって

高山村議会議長

平形 富二夫



新年明けましておめでとうございます。

村民皆様には、ご家族お

揃いで平成27年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平成27年の年頭にあたり、高山村議会議長として、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

地球温暖化が進む中、昨年2月に入り高山村が始まって以来の大雪になり、村内のほとんどのビニールハウスが倒壊し、また、雪の重みで倉庫や物置が倒壊してしまいました。今回の大雪により被害を受けられた村民の皆様にお見舞い申し上げます。今回の大雪は、村民だれもが経験したことのない雪でしたが、親子で除雪をしたことで家族の絆が生まれ、ご近所どうしでの助け合いで、団結力が確認されたのではないのでしょうか。幹線道路の除雪に高山村だけロータリー除雪車が入らなかったことが大変残念でした。8月に吾妻地域町村懇談会で、知事に対し、除雪に対する協力要請を強

く行いました。今年の冬は、県の除雪車も増やし、国・県・市町村が連携を密にして、幹線道路の除雪を優先的に実施することを約束しましたので安心して下さい。

道は現在、急速な少子高齢化、本格的な人口減少社会が到来し、特に多くの町

村において、町村の基幹産業である農林漁業低迷や若年人口の減少により地域経済の活力が奪われるなど、厳しい状況にあります。地方の創生と人口減少の克服は、国と地方が連携協力して総力を上げて取り組むべき国家的課題であり、我々町村としても、真面目からこの課題に取り組むべきだと思っております。

しかし、実効性のある個性あふれる地方創生を推進するには、これまでのような各府省の縦割りではなく、地方の責任の下、自主性・主体性が発揮できる仕組みの構築と十分な支援措置が必要だと思っております。

人口減少対策として、下仁田町では、20年住むなら宅地譲渡、島根県美郷町は新築町営住宅で、20年住めば住宅を、25年住めば宅地も無償で譲渡する制度を始めています。高山村でも、少子化・人口減少の対策として他町村

の真似でなく、高山村独自の対策を執行部と議会で知恵を出し合って、良いアイデアを模索していきたいと思えます。

今年も全議員が力を合わせ、村民皆様が高山村に住んでいて良かったと思えるような村づくり頑張っていきたいと思いますので、今後もご指導とご協力をお願い申し上げます。

結びに、村民皆様にとって今年一年が素晴らしい年になりますようにご祈念するとともに、ご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



年頭に当たって

高山村教育委員会

教育長 高橋 直幸



新年あけましておめでとうございます。

村民皆様にはご家族お揃いで平成27年の新春を健やかなうちに迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中はひとかたならぬご指導とご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで学校教育、社会教育等において高山村の教育行政を順調に進めていくことができました。本年もどうぞよろしくお願い申

し上げます。

昨年を振り返ってみる時、学校教育では、本村の小・中学校から貴重な実践研究をとおして得られた成果を県内外に発信できたことが特筆されると考えています。小学校では全国へき地教育研究大会・群馬大会における授業会場校として、北海道から沖縄県までの参加者が参観するなかで、2年間にわたる校内研修によって工夫・改善が図られた授業が展開されました。また中学校では、文部科学省の指定を受けた道徳教育総合支援事業として2年間の実践研究に精力的に取り組み、その成果が発表されました。道徳の授業改善に向けた貴重な提案は多くの参観者に刺激を与えるものとなりました。

たくさんの方の参観者に囲まれた子どもたちでしたが、小中学校に共通していたことは、どの場面、どの時間にあってもしっかりと授業に

取り組み、課題解決に向けてしっかりと考えようとする姿勢が見られたということ

です。社会教育では体育協会、文化協会等が中心となり、関係者の皆様にご協力いただきながらスポーツ、文化活動等において、各種事業を順調に展開することができました。生涯学習の充実が叫ばれる中、本村では様々な学習への取組がなされていることが、こうした事業を通じて再確認されたと考えています。

社会の変化には、めまぐるしいものがありますが、幸い本村では大事に至ることなく推移しており、関係各位のご尽力の賜と厚くお礼申し上げます。平成27年も知恵を出し合い、諸課題の解決を図るとともに本村内で培われてきた強い絆を支えていただきながら、社会の変化や教育界の潮流をしっかりと見据えた教育行政を執行していく所存です。

特に、村全体を学びの場ととらえ、「学ぶ子ども、学ぶ大人」の姿があちこちで見られるよう学校教育、社会教育の充実を図り、笑顔で輝く高山村の実現につなげていきたいと考えておりますので、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。むすびに、本年が村民皆様にとって幸せに満ちた、充実した年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

